

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 10 月 6 日(2023.10.6)

【公開番号】特開 2023-18159(P2023-18159A)
【公開日】令和 5 年 2 月 7 日(2023.2.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-024
【出願番号】特願 2022-194370(P2022-194370)
【国際特許分類】

F 1 6 K 11/078(2006.01)

10

【F I】

F 1 6 K 11/078 B

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 9 月 28 日(2023.9.28)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

中空円筒状に構成され、軸方向の一端側及び他端側がそれぞれの壁で塞がれたシリンダ体と、

前記シリンダ体の周壁内にそれぞれ設けられた、水流入孔、湯流入孔、及び、湯水流出孔と、

前記シリンダ体を回転可能に収容し、前記シリンダ体の周壁に対向する水側連通孔、湯側連通孔、及び、湯水流出口を有するハウジング体と、

前記ハウジング体の内部空間に、それぞれ前記水側連通孔、前記湯側連通孔、及び、前記湯水流出口を介して連通するよう設けられた、水供給路、湯供給路、及び、湯水流出路と、

30

前記シリンダ体の軸方向一方側に、回転操作可能に設けられた操作部と、

前記シリンダ体を軸方向に貫通すると共に、前記シリンダ体の前記それぞれの壁に接続しないし一体化されたシャフト体と、
を備え、

前記シャフト体の両端は、前記それぞれの壁よりも外側まで延びて、前記ハウジング体の前記内部空間と連通しない領域内にあって、大気開放されており、

前記シリンダ体及び前記シャフト体は、前記操作部の回転操作によって回転位置を変えるようになっており、

前記シリンダ体の回転位置に応じて、少なくとも、前記水供給路と前記水流入孔との連通量と、前記湯供給路と前記湯流入孔との連通量と、が変化することによって、温度調整が実現される

40

ことを特徴とする水栓弁装置。

【請求項 2】

前記シャフト体の両端が存在する領域は、シール部材によって、前記ハウジング体の前記内部空間と連通しないように遮断されている
ことを特徴とする請求項 1 に記載の水栓弁装置。

【請求項 3】

前記シャフト体の一端部に接続ないし一体化されると共に、前記操作部に対して回転方向に固定された接続部材

50

を更に備え、

前記接続部材は、前記操作部に対して軸方向に移動可能となるように設置されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の水栓弁装置。

【請求項 4】

前記シャフト体の他端部の軸方向移動を規制する一方で、当該シャフト体の他端部の回転は規制しない保持部材

を更に備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の水栓弁装置。

【請求項 5】

前記ハウジング体は、前記内部空間を区画するために、軸方向一方側の蓋部材と、軸方向他方側の蓋部材と、を有している

10

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の水栓弁装置。

【請求項 6】

前記ハウジング体の前記蓋部材の各々は、前記ハウジング体の軸方向端部よりも内方に位置している

ことを特徴とする請求項 5 に記載の水栓弁装置。

20

30

40

50